

文部科学省

令和2年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」

～ワーク&ライフ・デザイン教育プログラム～

第十回

KU **Sourire**



本日のプログラム

1. イントロ
2. 振り返りワーク・10年後なりたい姿ワーク
3. 課題解決ワーク

3. 課題解決ワーク
4. プレゼンテーション講座
5. 次回について



振り返りワーク

10年後になりたい姿ワーク

～学びで得た気づきを共有する～



キャリアについて

4つのLキャリアの概念
ワークとライフのデザイン
社会人インタビュー

両立について

歴史的背景
子育ての価値観変化

ジェンダーについて

自分について

性にまつわる固定概念
社会にある意識

なりたい姿ワーク
強みワーク

子どもについて

成長と関わり
行動と背景

両立家庭の実習

両立されている家庭
子どもとの共通体験



体験気づき

- プログラムの前後で
イメージが変わったこと
素敵だな～
こんな工夫いいな～
もっとこうならいいのにな？ 疑問

もしもこうなったらいいものにな：疑問 (5個)

- 仕事・働く環境
- 結婚・子ども
- 住まい・地域環境
- プライベート



体験気づき

仕事

	A	B	D	E	F	G	H	I
	体験気づき (良いイメージへの変化・残念なイメージへの変化など、率直に)							
	仕事		愛・家族		学習		余暇・地域	
	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ
例)	毎日残業している	ママは調整しているがパパは残業が多い	とにかく忙しい	成長と共に手伝ってくれる	勉強はしないもの	通勤時間を利用して勉強を続けている	自分の時間はない	自分の時間は作る！
1								
2								

体験前の

体験後の

7	3	イメージ	イメージ						
8	4								
9	5								
10									
11									
12									
13									
14									

記入：15分

目標：5個

体験気づき

ブレイクアウト

体験気づき								
(良いイメージへの変化・残念なイメージへの変化など、率直に)								
	仕事・働く環境		結婚・子ども		住まい・地域環境		プライベート	
	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ	体験前のイメージ	体験後のイメージ
例)	毎日残業している	ママは調整しているがパパは残業が多い	とにかく忙しい	成長と共に手伝ってくれる	待機児童が多い	預かり先はあるが質が問題	自分の時間はない	自分の時間を作る！
1								
2								
3								
4								

8	4								
9	5								
10									
11									

共有：6分

共有して新たに気付いた点があれば加えよう

体験気づき

	A	B	C
1			記入者名：0000000000
2		10年後になりたい姿（四領域シート）	
3	1：仕事 ・どんな仕事？・どんな場所で仕事している？ ・どんな人と仕事している？・働き方は？	仕事×家庭・愛	・パ
4			
5	仕事×学習	統合：10年後（00歳）の自分	家庭・愛×余暇・地域

必ず中央は記入
してください

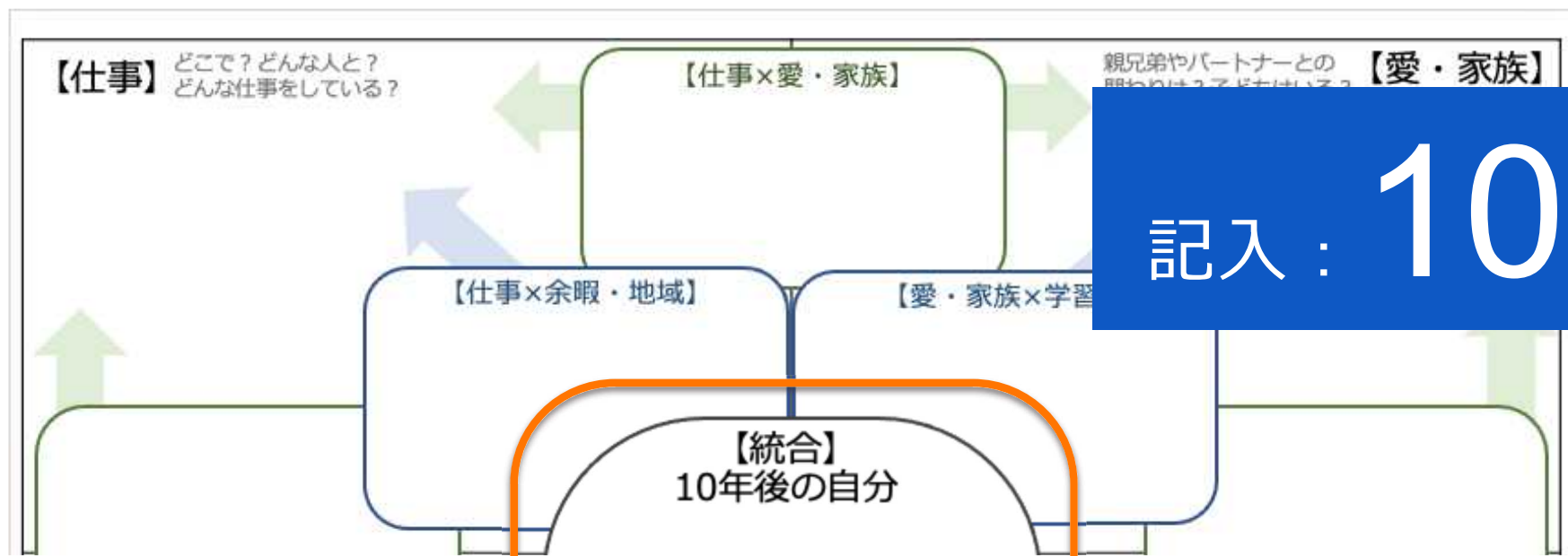
記入：10分

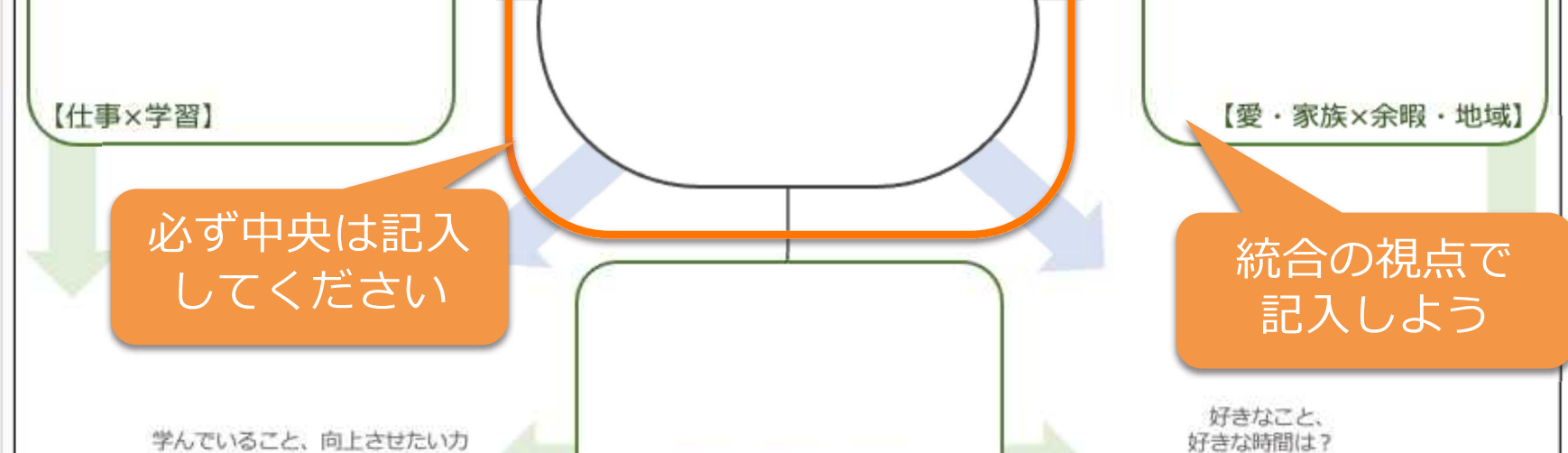
6			
7	3 : 学習 ・熱中していることは？・趣味や学びは？	学習×余暇・地域	4 : 余暇・ ・週末の過ごし方は？・どんな場所に滞在している？
8			
9			

統合の視点で
記入しよう

体験を通して、10年後の理想は変化したかな？

体験気づき





体験を通して、10年後の理想は変化したかな？



課題解決ワーク ～プレゼンターマを設定～



課題解決プログラム

**10年後の理想の姿を実現するための
私の第一歩は
というテーマでプレゼンを実施**



～社会のなりたい姿～

目標

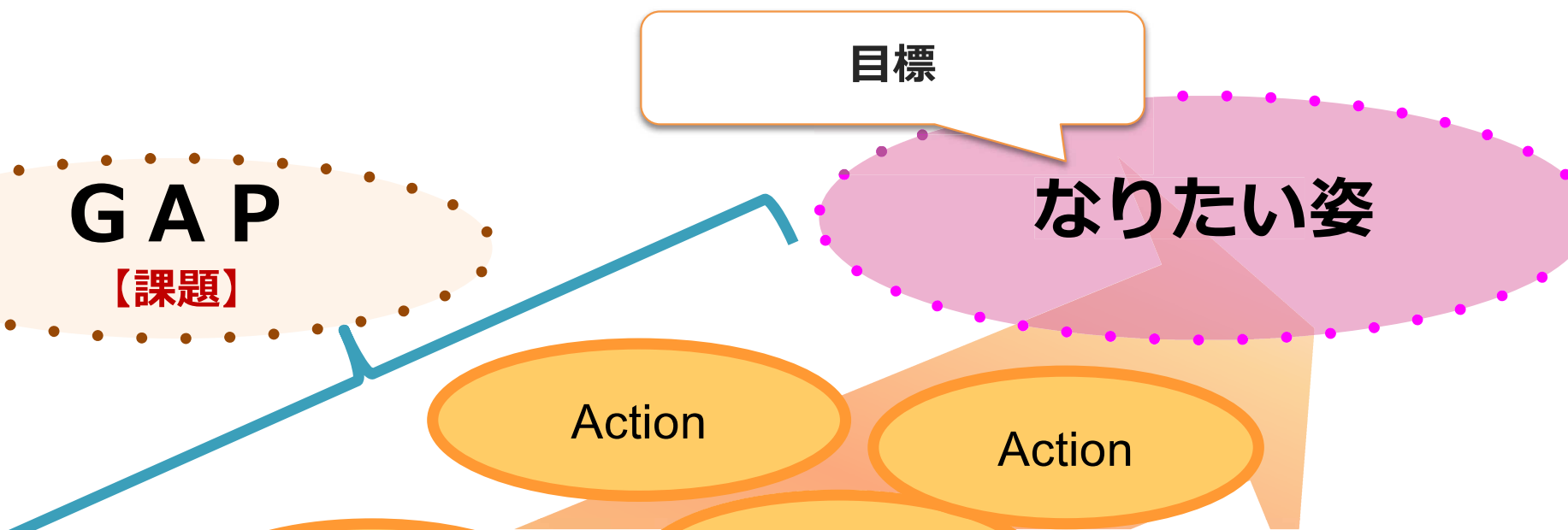
G A P

【課題】

なりたい姿

Action

Action



ヒアリングで明確化

ction

Action

Action

アイディア

現状

体験したことで課題感を持ち、
なりたい姿に近づくための一歩を実践

考え方のステップ





体験を通して
大変だな、疑問だ
なと感じたこと



原因はなに？
こんな社会に
なったら良いかと
妄想する



どんな
やり方があるか
考えてみる

プレゼンテーマ設定

	A	B	C	D
2		個人ワーク	課題設定ワーク	
3		体験を通して感じた課題・疑問（個人ワーク）		
4		1		
5		2		
6		3		
7		4		
8		5		

9			
10		課題～解決策の具体化（ペアワーク）※それぞれの課題を共有しーつに絞ろう	
11		【課題設定】 取り組む課題・疑問を1つに絞る	【ビジョンの提示】 課題が10年後どうなっていたらハッピー？
12			【解決策の提示】 10年後の姿をどうやって実現させる？
13			

記入：8分

◀ ▶
体験気づき
10年後のなりたい姿
課題設定ワーク
+

プレゼンテーマ設定

ブレイクアウト

個人ワーク		課題設定ワーク	
		10年後の理想の姿を実現するために、体験を通して感じた課題・疑問	
1			
2			
3			
4			
5			

9			
10		課題～解決策の具体化	
11		課題を一つに絞る	
12		【課題設定と背景の深堀】 取り組む課題の背景要因を挙げる	【ビジョンの提示】 課題が10年後どうなっていたらハッピー
13			
◀ ▶ 体験気づき 10年後のなりたい姿(四領域シート) 【記入例】10年後のなりたい姿(四領域シート) 課題設定ワーク +			

共有：5分

プレゼンテーマ設定

個人ワーク

E8		fx		
	A	B	C	D
2		課題設定ワーク		
3		10年後の理想の姿を実現するために、体験を通して感じた課題・疑問		
4	1		記入：8分	
5	2			
6	3			
7	4			
8	5			

9			
10	課題～解決策の具体化		
11	課題を一つに絞る		
12	【課題設定と背景の深堀】 取り組む課題の背景要因を挙げる	【ビジョンの提示】 課題が10年後どうなっていたらハッピー？	【解決策の提示】 10年後の姿をどうやって実現させる？
13			
	体験気づき 10年後のなりたい姿(四領域シート) 【記入例】10年後のなりたい姿(四領域シート) 課題設定ワーク +		

プレゼンテーマ設定

個人ワーク

ブレイクアウト

E8				
	A	B	C	D
2		課題設定ワーク		
3		10年後の理想の姿を実現するために、体験を通して感じた課題・疑問		
4	1			
5	2			
6	3			
7	4			
8	5			

共有：5分

共有：5分

9			
10	課題～解決策の具体化		
11	課題を一つに絞る		
12	【課題設定と背景の深堀】 取り組む課題の背景要因を挙げる	【ビジョンの提示】 課題が10年後どうなっていたらハッピー？	【解決策の提示】 10年後の姿をどうやって実現させる？
13			
	体験気づき	10年後のなりたい姿(四領域シート)	【記入例】10年後のなりたい姿(四領域シート) 課題設定ワーク +



プレゼンテーマ設定

【共有】 10年後の理想の姿を実現するための

①課題は？：具体的に課題だと感じた事実

②課題背景：課題に感じた事実の裏に何がある？

③ビジョンの提示：理想の姿

④解決策の提示：どうやって理想に近づけるのか

さらにアイデアを深めたり、情報収集しよう！



スライドの色や写真は自由に作成してください。

プレゼン フォーマット

最終プレゼン

学部：

学年：

名前：

具体的な体験

<講義での印象に残った具体的な体験>

●~~~~~

●~~~~~

<社会人ヒアリングでの印象に残った具体的な体験>

●~~~~~

● ～～～～

<ご家庭実習での印象に残った具体的体験>

● ～～～～

● ～～～～

インターンを経て、変化したこと・個人の気づき

【Before】

仕事

愛・家族

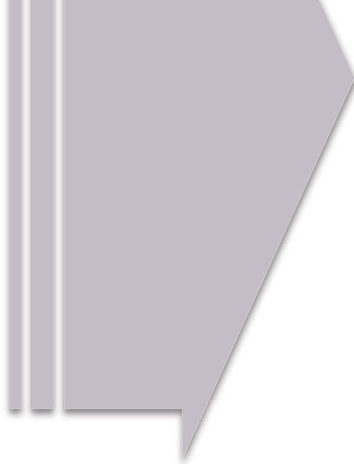
【After】

仕事

愛・家族

学習

余暇・地域



学習

余暇・地域

私の10年後の姿

	10年後
仕事 どんな仕事？ 働き方は？ どんな人と働いている？	
愛・家族 結婚している？ 子どもは？	

すともは？
パートナーとの関係は？

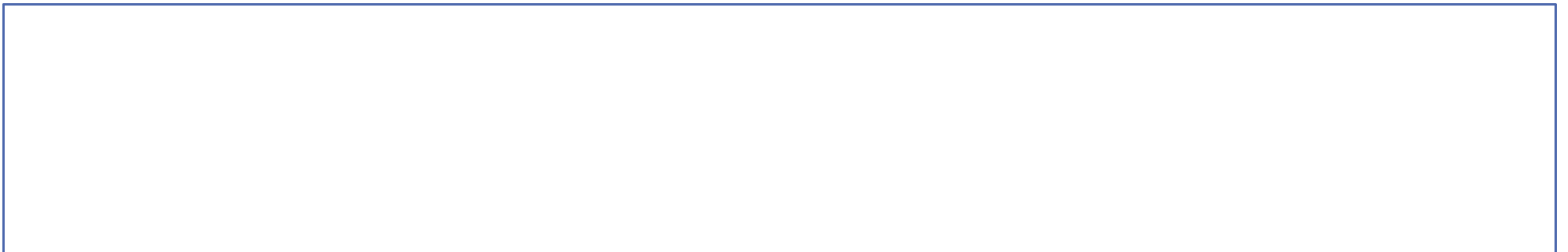
学習

どんな力を伸ばしたい？
趣味は？

余暇・地域

友達との関係は？
週末は何をしている？
どんな地域で生活している？

実際に体験して感じた「**10年後の理想の姿は**」





実際に体験して感じた
「私の10年後の理想の姿を実現するため」

課題の設定

◎課題だなと感じたところ

課題の深考

◎課題の背景は？

課題の深考

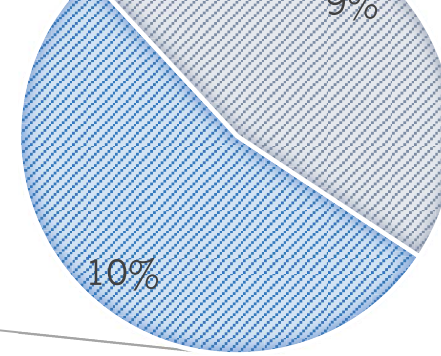
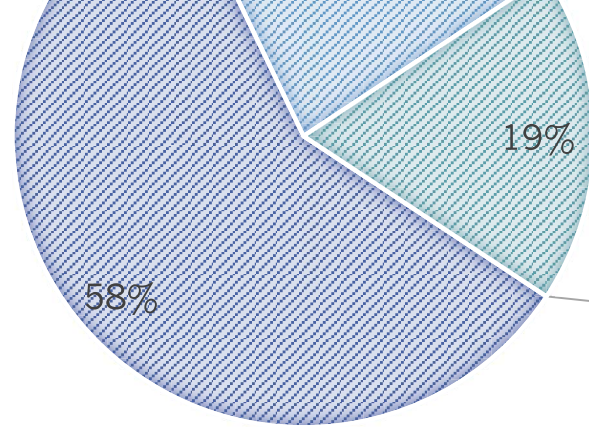
0000データ 0000より

必要であればデータで
示す

ヒント！
すぐろくでを使用した
データ集なども参考に

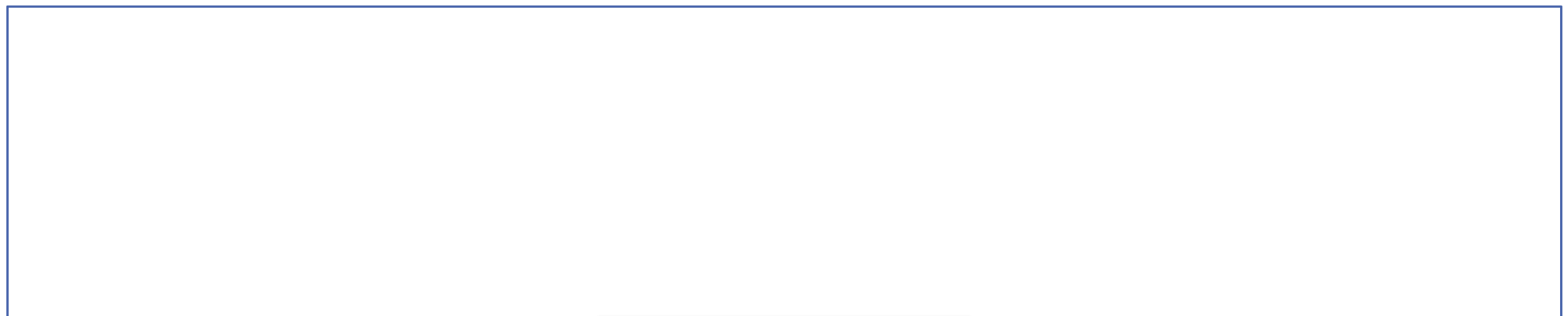
000の増加





このことから課題背景は・・・・oooooだと考えらる

課題を解決するために考えられる方策（アイデア）



アイデアを実施するための私ができる小さな一歩の宣言



授業の感想を一言



プレゼン講座

プレゼン≠報告

＜プレゼンの最終目的＞

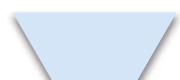
相手に「伝わり、行動してもらうこと」
「伝える」裏に「行動」がひもづいている



プレゼン≠伝える

＜伝えるとは？＞

相手に「利益になる・興味がある」と
思ってもらわなければ聴いてもらえない



明確に**行動を提示**することで、
相手の**行動を促す**

＜今回の目的＞
自分への協力者や情報を求める！

相手のニーズに応じて始めて、
聴いてもらうことができ、
行動に繋がる

＜今回の聞き手のニーズ＞
将来にたいして協力できる
ことはないか？



最終プレゼンテーション会のニーズとは

【期待すること】 「授業・実習を体感した学生自身の考え」

- ・ 実体験に基づいた課題
- ・ 状況が分かりやすいか
- ・ 課題を解決する提案になっているか？
- ・ 実現したら、どんな社会になっているか？

- ・当事者意識を持った提案になっているか？

【聴き手】 受講生 & 先生

皆さんの未来に一步踏み出す姿がわかる
プレゼンに期待がされています



最終プレゼンの構成チェック



最終プレゼンの構成

1:課題の共有

2:現状の状況（データ・ヒアリング）

3:課題を解決する提案内容

3:課題を解決する提案内容

4:提案を実現することで達成できる社会

5:実現までに必要なもの・スケジュール



- 最後に

提案に対して、今の自分ができる行動
(スモールステップ) を必ず入れてください

(スプレッドシート) 追加されたこと



次回について



最終プレゼンまでのスケジュール

個別にプレゼンテーション作成

<プレゼンテーションについて>

0月0日 (0) 0名

0月0日 (0) 0名

【内容】
個人プレゼンテーション

0月0日（0）まで 000000に提出



最終プレゼンの構成

個人
プレゼン
5分/人

発表順は〇〇の順番です！



次回のプログラム

【最終プレゼンテーション】
0月0日（0）0:00~

1 プレゼンテーション

1. プレゼンテーション
2. 学生アイデアについてディスカッション & 全体共有
3. 00より講評



**THANK YOU
FOR
YOUR
LISTENING**